



平成 17 年 11 月 7 日

各 位

会 社 名 株 式 会 社 ド ワ ン ゴ  
代 表 者 名 代 表 取 締 役 社 長 小 林 宏  
(コード番号：3715 東証第一部)  
問 合 せ 先 執 行 役 員 経 営 企 画 室 長 松 本 康 一 郎  
(TEL . 0 3 - 3 6 6 4 - 5 4 7 7 )

平成 17 年 9 月 期 連 結 業 績 予 想 お よ び 個 別 業 績 予 想 の 修 正 に 関 す る お 知 ら せ

平成 17 年 5 月 16 日 付 で 公 表 い た し ま し た 平 成 17 年 9 月 期 ( 平 成 16 年 10 月 1 日 ~ 平 成 17 年 9 月 30 日 ) の 連 結 業 績 予 想 な ら び に 個 別 業 績 予 想 を 下 記 の と お り 修 正 い た し ま す 。

記

1 . 平 成 17 年 9 月 期 連 結 業 績 予 想 の 修 正 ( 平 成 16 年 10 月 1 日 ~ 平 成 17 年 9 月 30 日 )

( 単 位 : 百 万 円 )

	売上高	経常利益	当期純利益
前回発表予想(平成 17 年 5 月 16 日(A))	18,700	3,050	570
今 回 修 正 予 想 ( B )	18,080	3,320	850
増 減 額 ( B - A )	620	270	280
増 減 率 ( % )	3.3	8.9	49.1
(ご参考)前期(平成 16 年 9 月 期)実績	16,831	2,992	2,390

2 . 平 成 17 年 9 月 期 個 別 業 績 予 想 の 修 正 ( 平 成 16 年 10 月 1 日 ~ 平 成 17 年 9 月 30 日 )

( 単 位 : 百 万 円 )

	売上高	経常利益	当期純利益
前回発表予想(平成 17 年 5 月 16 日(A))	18,500	1,800	1,150
今 回 修 正 予 想 ( B )	17,940	2,180	1,470
増 減 額 ( B - A )	560	380	320
増 減 率 ( % )	3.0	21.1	27.8
(ご参考)前期(平成 16 年 9 月 期)実績	13,194	1,253	1,503

### 3. 修正の理由

売上高につきましては、第3四半期以降、重点的に「着うた」や「着うたフル」の配信に向けた権利確保、人気楽曲の品揃えに注力した結果、第4四半期は当初想定どおりの進捗状況となっております。しかしながら、第3四半期までの品揃え不足による売上の減少傾向が影響し、通期といたしましては、当初予想を下回ることとなる見通しであります。

費用面におきまして、今期以降に成長のドライバーとなる、総合情報サイトの構築やe-コマースをはじめとした新規事業の先行開発投資を第4四半期から本格的に行ってまいりました。一方で、コンテンツ事業の売上の減額に伴い、共同事業者に対する支払手数料や著作権等使用料をはじめとした売上原価の減少、その他広告展開においても投入コンテンツの内容や時期を吟味した効率的投入をはじめ、子会社である株式会社コンポジットとの合併に向け費用の見直しを図るなど経費面の抑制に努めたことにより、経常利益におきましては、当初予想を上回ることとなる見通しであります。

その結果、当期純利益におきましては、株式会社コンポジットとの合併に伴う連結調整勘定の期首残高、株式会社チュンソフトの子会社化に伴う連結調整勘定の合計11億37百万円を一括費用処理したうえで、当初予想を上回ることとなる見通しであります。

以上の要因により、通期の連結業績見通しについては、売上高180億80百万円(前期比7.4%増)、経常利益33億20百万円(前期比11.0%増)、当期純利益8億50百万円(前期比64.4%減)、通期の個別業績見通しについては、売上高179億40百万円(前期比36.0%増)、経常利益21億80百万円(前期比21.1%増)、当期純利益14億70百万円(前期比2.2%減)を見込んでおります。

なお、配当につきましては、前回予想発表時どおり年間2,000円を予定しております。

以 上